

健保ニュース

イマジカ健康保険組合

平成27年度予算をご報告します。

平成27年度の予算と事業計画が平成27年2月16日(月)に開催された組合会で承認されました。

高齢者医療費を支えるための拠出金が、依然当健康保険組合財政の大きな圧迫要因となっておりますが、平成27年度につきましては、平成26年度と同じ保険料率を維持することができました。

そのようななか、今年はデータヘルスという新たな保健事業が始まる年でもあります。データヘルスは、各健康保険組合が独自に蓄積しているレセプトや健診データを分析し、加入者や事業所の特性に応じた健康づくり、疾病予防に取り組むものです。健康保険組合が推し進めている保健事業をさらに効果的・効率的に実施する試みであり、その成果は健康寿命の延伸や医療費適正化につながると期待されています。

当健康保険組合といたしましては、データヘルス計画にあわせた様々な疾病予防事業を通して、皆さまの健康増進に寄与するとともにジェネリック医薬品の利用促進などにより医療費軽減に努めて参ります。

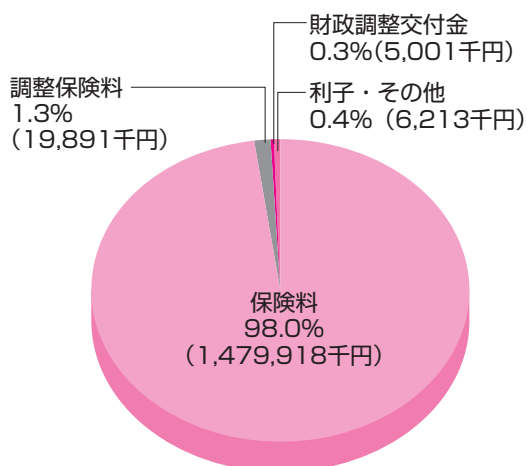
当健康保険組合の事業運営に、一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

健康保険料率は98 / 1,000に据え置き、介護保険料率は12 / 1,000に据え置き

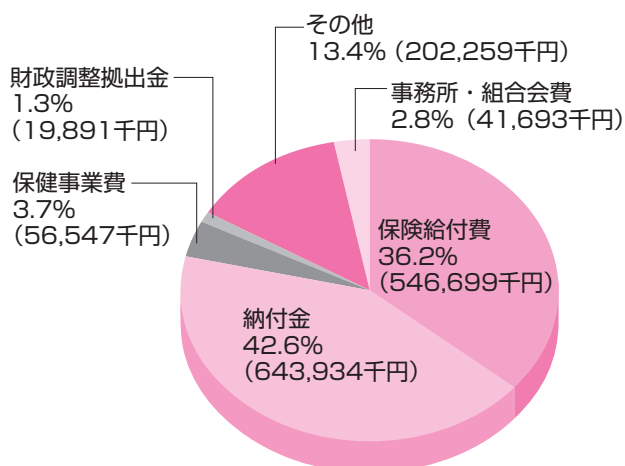
健康保険料率		98 / 1,000(本人 49 / 1,000)
介護保険料率		12 / 1,000(本人 6 / 1,000)
計	40歳以上	110 / 1,000(本人 55 / 1,000)
	40歳未満	98 / 1,000(本人 49 / 1,000)

収支の概要(一般勘定)

収入 合計 1,511,023千円



支出 合計 1,511,023千円



平成27年4月から

データヘルス計画がスタートしました

「データヘルス計画」とは、健康保険組合などが持っている健診結果と、医療費データ(レセプト)などの情報を活用し、加入者の皆様の健康づくりや疾病対策、病気の重症化予防を効果的に行っていくための計画です。

このデータヘルス計画が平成27年度から29年度までを第一期とし、スタートしました。

データヘルス計画の背景

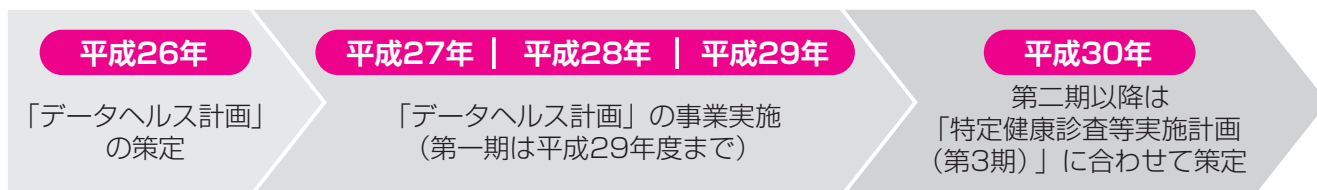
データヘルス計画が始まった背景のひとつが、レセプト*や健診データの電子化によって、健康保険組合の加入者の健康状況の把握や他の健康保険組合との比較が容易となり、健康保険組合の課題を見つけたり、対策を立てやすくなったこと。

もうひとつが、高齢化の進展や糖尿病などの生活習慣病の増加により、毎年一兆円を超える規模で医療費が増え続けており、生活習慣病の予防が重要な課題となっているためです。

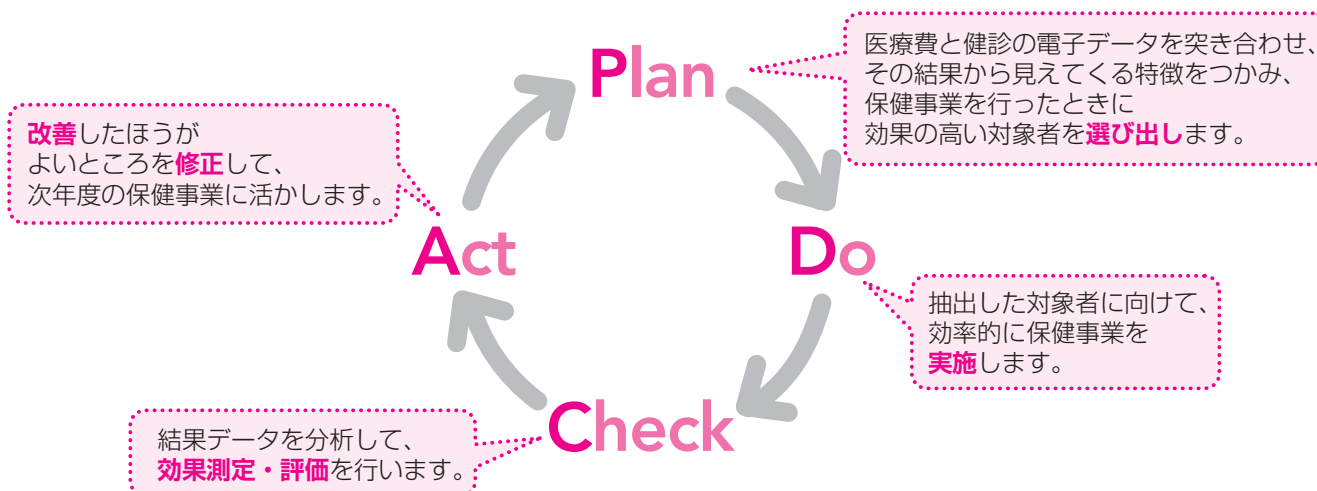
データヘルス計画は国の「日本再興戦略」に盛り込まれ、すべての健康保険組合に計画の策定と実施が義務づけられました。

※医療機関から健康保険組合に医療費を請求する明細書

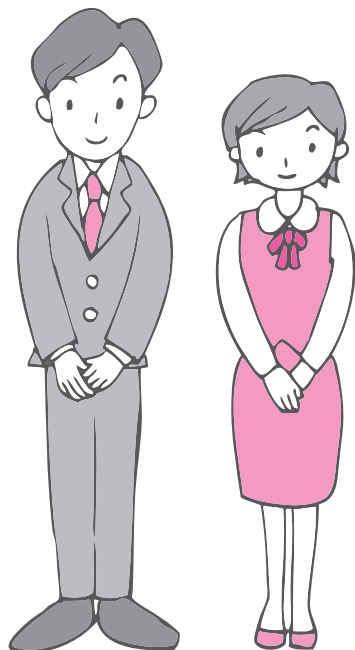
データヘルス計画の実施スケジュール



PDCAサイクルに沿って 効果的に保健事業を実施していきます



データヘルス計画に基づき 効果的な保健事業を展開します



新規事業

糖尿病性腎症重症化予防事業

特定健診の検査値とレセプトの治療状況から対象者を特定し、専門職より対象者個人に6ヵ月間の面接指導と電話指導を行います。

健診異常値放置者受診勧奨事業

特定健診の受診後に、結果に異常値が出ているにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者の方に通知書を送付します。

生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

かつて生活習慣病の治療を受けていたものの、一定期間医療機関受診を確認できない方に通知書を送付します。

健診後の情報提供

健診結果に応じて、皆様それぞれに合った健康情報をご提供いたします。



ジェネリック医薬品 利用促進

皆様が実際に処方・調剤された医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合、どのくらいお薬代が安くなるのかをお知らせする通知をお送りいたします。自己負担額の削減はもちろんイマジカ健康保険組合の医療費削減にもつながりますので、ご検討をお願いいたします。

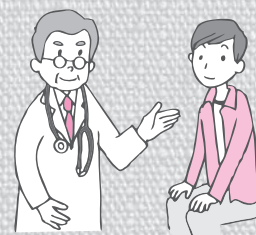
医療費通知

3ヵ月ごとに医療費通知をご提供いたします。



特定保健指導

特定健診の結果、生活習慣病にかかるリスクが高い方に対して、特定保健指導が行われます。医師や保健師などの専門家がサポートをします。



皆様へお願い

イマジカ健康保険組合から皆様へ、健診受診後の受診勧奨通知などご案内をお送りすることがあります。届きましたら必ずお読みになり、受診していただきますようお願いいたします。

健保組合は、皆さんの健康増進をバックアップします!!

イマジカ健康保険組合では、今年度も疾病予防や健康の保持増進のための幅広い事業を行います。ふるってご活用ください。

主な事業を紹介します。詳しくはホームページをご覧ください。

項 目	対象者	内 容	自己負担額
健康診断	本人(全員)	必ず受診してください。29歳以下は定期健康診断(または一般健診)を、30歳以上は生活習慣病健診を受診してください。	0円
短期人間ドック	本人・家族(希望者)	受診年齢は40歳以上、かつ資格取得後6カ月が経過した方です。健康保険組合の補助を受けるためには事前の申請が必要となります(平成27年度より自己負担額は医療機関窓口に納付となりました)。	10,000円
主婦健診	主婦(全員)	全国に健診会場を設置して行います。各家庭には受診案内を郵送します。	0円
大腸がん検診	本人・配偶者(希望者)	急増している大腸がんの郵便検診方式。9月上旬より申込開始の予定です。申込方法については健康保険組合ホームページにてお知らせいたします。	0円
単独婦人科健診	本人・家族(希望者)	単独で婦人科健診を行っているクリニックなどを活用した乳がん・子宮がん健診の費用を12,000円まで補助します。40歳以上の方が対象。健康保険組合の補助を受けるためには事前の申請が必要となります。	1人12,000円を超えた部分
インフルエンザ予防接種	本人・家族(希望者)	平成27年10月1日からの接種について、1人1,500円を補助。予算の関係で1,000人までの適応となります。	1人1,500円を超えた部分
ラフォーレ倶楽部	本人・家族(希望者)	会員名「総合会員」、会員番号「50318」。たまには高原リゾートで贅沢な休日をも！ゴルフも、福利厚生サービスも好評です。	会員料金
コナミスポーツクラブ	本人・家族(希望者)	コナミを身近に楽しんでもらうために、1回500円(月4回まで)を補助します。レジで自動計算されるので便利です。お近くのコナミで会員証を作りご利用ください(カード保険証と印かん持参)。	会員料金

春は異動の
シーズンです

あなたの被扶養者に変更は ありませんか？

就職や結婚などでご家族(被扶養者)に異動があったときは、5日以内に「健康保険被扶養者異動届」に保険証を添えて、事業所経由で健康保険組合に提出してください。なお、削除日以降に保険証を使用して診療などを受けた場合は、健康保険組合が医療機関に支払った医療費(自己負担分を除いた額)を返還していただくことになりますので、ご注意ください。